

事後評価結果の概要

1 評価対象事業箇所

県が実施した公共事業で、事業完了後一定期間(5年を基本)を経過した箇所のうち、9箇所の評価を行いました。

2 評価内容及び結果

評価内容ごとに基準を設け評価を行いました。また、事業対象区域の住民等に対しアンケート調査を行い、工事の満足度等を把握しました。

評価内容	評価結果			
	A	B	C	D
事業効果の発現状況	—	9	—	—
事業実施に伴う自然環境の変化	1	8	—	
施設の維持管理状況	5	4	—	—
地域住民等の評価	9	—	—	
改善措置の必要性	6	3	—	
事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況*1	1	1		

*1:事業の主たる目的以外で貢献状況がある場合に評価の対象としています。

<評価ランクの基準>

①事業効果の発現状況	A: 目的を超えた達成 B: 達成した C: 概ね達成 D: 達成したとはいえない
②事業実施に伴う自然環境の変化	A: 環境が良くなった B: 大きな影響なし C: 影響が大きい
③施設の維持管理状況	A: 地域の人たちの参加あり B: 適切にされている C: やや不十分 D: 適切にされていない
④地域住民等の評価	A: 評価が高い(肯定意見70%以上の項目が、全体項目数の70%以上) B: 中程度の評価(A,C以外) C: 評価が低い(否定意見50%以上の項目が、全体項目数の50%以上)
⑤改善措置の必要性	A: 改善の必要なし B: 小規模な改善が必要 C: 大規模な改善が必要
⑥事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況	A: 貢献度が高い B: 貢献している

3 評価結果の概要

- 事業効果の発現状況については、評価対象箇所全てで事業効果が発現していました。
- 事業実施に伴う自然環境の変化については、自然環境に配慮した工法を実施し、その影響を最小限に留めていました。
- 施設の維持管理状況については、地すべり対策委員会が住民により組織され、施設周辺の草刈りを継続して実施するなど、住民との協働による維持管理が行われている箇所もありました。計画段階から住民参加のもとで事業を進めることが、より良好な維持管理につながっています。
- 住民アンケートによる地域住民等の評価(工事の必要性、地域社会にとっての重要性、工事結果の満足度)については、すべての箇所で高い評価でした。
- 街路事業では、第3次医療機関へのアクセス性が向上し、救急医療体制の充実に貢献しており、事業の主たる目的以外の面でも地域社会への貢献度が高くなっています。